

## モーセ QT シリーズ 4 週目

<10月26日(月)>祭司の王国、聖なる国民

出エジブ 19:1-6

1 イスラエルの人々は、エジプトの国を出て三月目のその日に、シナイの荒れ野に到着した。2 彼らはレフィディムを出発して、シナイの荒れ野に着き、荒れ野に天幕を張った。イスラエルは、そこで、山に向かって宿営した。3 モーセが神のもとに登って行くと、山から主は彼に語りかけて言われた。「ヤコブの家にこのように語り／イスラエルの人々に告げなさい。4 あなたたちは見た／わたしがエジプト人にしたこと／また、あなたたちを鷲の翼に乗せて／わたしのもとに連れて来たことを。今、もしわたしの声に聞き従い／わたしの契約を守るならば／あなたたちはすべての民の間であって／わたしの宝となる。世界はすべてわたしのものである。6 あなたたちは、わたしにとって／祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエルの人々に語るべき言葉である。」

解説:

モーセとイスラエルの民は、エジプトを出て約 1 ヶ月半後にこのシナイの荒れ野に到着しました。そこでシナイ山を前に彼らは宿営をします。神様はエジプトの地から「鷲の翼に乗せて私のもとに連れてきた」という「私のもと」は、まさにこのシナイ山に来たことを示しています。ここで神様はモーセを通してイスラエルの民に「契約」を与え、神の民となる新しい生き方へと導びこうされました、神様の声に聞き従い神様の契約を守る者は「すべての民の間であってわたしの宝となる」こと。加えて「イスラエルの民は祭司の王国、聖なる国民となる」ことと、それを宣べ伝えるようにと神様は伝えています。

質問/実践:

① 契約を伝える前に「エジプト人にしたこと」と「あなたたちを鷲の翼に乗せてわたしのもとに連れて来たこと」に触れ、神様はイスラエルの民に前のことを思い出させようとしています。それはなぜでしょうか。

② 私たちはイエスの十字架によって「鷲の翼に乗せて」もらうほどすみやかに救いを与えられ、罪の奴隷から聖なる国民へと導かれました。その希望を忘れずに伝え続けるために、11~12月の「What's going on」シリーズに参加してくれるよう今週友人や家族に声をかけていきましょう。

<10月27日(火)>十戒(神様に対する戒め)

出エジプト 20:1-11

1 神はこれらすべての言葉を告げられた。2 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。3 あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。

8 安息日を心に留め、これを聖別せよ。9 六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、10 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。11 六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

解説:

シナイ半島の南部には、標高 2,000~3,000m級の山が 3 つ連らなっています。その中の一つがシナイ山だと考えられています。そこで神様はイスラエルの民を守るための 10 の戒めをモーセに伝えました。十戒は申命記 5:7-21 にも書かれています。十戒は大きく分けて前半の「神様に対する律法(責任/義務)」と、後半の「人に対する律法(責任/義務)」があります。今日はこの前半にあたる第一と第四の戒めについて深めていきましょう。

質問/実践:

①第一の戒めは、3 節にある「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない」です。これはとても大切な戒めです。あなたが神様を一番にできない理由、神様を一番にすることを妨げている罪は何ですか。ソレを悔い改める具体的な決心をし、信頼できる友だちに一緒に祈っていきましょう。

②第四の戒めは、8 節にある「安息日を心に留め、これを聖別せよ」です。11 節にあるように、神様は「主は安息日を祝福して聖別され」ました。コロナで教会での礼拝が無い中、あなたの日曜礼拝に対する態度は神様から見てどうでしょうか。次の礼拝が「聖別」された特別なものになるよう心を入れ替えて準備をしましょう。

<10月28日(水)>十戒(人に対する戒め)

出エジプト 20:12-17

17 隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」

解説:

ここは、十戒の後半の「人に対する律法(責任/義務)」についての箇所です。17 節では第十の戒め「人の欲」、いわゆる「人の貪欲さ」について教えています。残念なことに、人は年齢を重ねるごとに「貪欲」になっていきます。それは時に物に対する執着や欲もありますが、多くの場合は目に見えない形での「欲」として現れてきます。「自分の意見や考え」に固執したり、「自分の意見や考えを人に理解してもらわないといけない」、「自分は間違っていない」、「自分の思い通りになって欲しい」という思いが強くなり貪欲という罪になります。「欲」には中毒性があります。神様は人の弱さを知っておられるので、私たちを守るためにこの戒めを与えてくださっています。

## 質問/実践

①あなたは「欲」が強い人ですか。

②①の質問で「いいえ」と答えた人は、「目に見える欲」と「目に見えない欲」が無いかどうか、自分をよく知っている兄弟姉妹か家族に聞いてみましょう。もらったフィードバックはよく吟味し、心が変えられるよう助けを求めましょう。

## <10月29日(木)> 社会生活における定め

### 出エジプト 21:1-2

1 以下は、あなたが彼らに示すべき法である。 2 あなたがヘブライ人である奴隷を買うならば、彼は六年間奴隷として働かねばならないが、七年目には無償で自由の身となることができる。

#### 解説：

21～23 章は契約書の中の「定め」について書かれています。神の民たちはモーセを通して与えられた律法の下に、秩序を保って生活していくため必要でした。十戒とこれらの定めは、書物に記され、この書に基づいて神と契約が結ばれました。これらの定めは、十戒の原則を実生活に適用させた細かい定めです。この定めは、まず主人と奴隷についての教えから始まっていることはとても興味深いです。なぜならイスラエル自身がエジプトで奴隷だったからであり、神の恵みと憐れみによって開放された民であったからです。この律法においてイスラエルの奴隷制度は、近代の諸国における残酷な奴隷制度ではなく、奴隷の人格が尊重され、主人は奴隷に対して決して冷酷な態度を取ることは許されなかったのです。

#### 質問/実践：

われわれ弟子は、かつて罪とサタンの奴隷でしたが、主の尊い血の清め、代価をもって購われ、自由になり、開放されました。そして深い恵みと憐れみによって、神の民としていくことができています。

①かつてあなたはどんな罪の奴隷だったか思いだし、開放された喜びと感謝を書き出しましょう。

②もし今でもやめられない罪があれば、贖い主の深い憐れみと恵みに預かれる希望をもって悔い改めましょう。

## <10月30日(金)> 弱者を守るための教え

### 出エジプト 22:21-26

21 寡婦や孤児はすべて苦しめてはならない。 22 もし、あなたが彼を苦しめ、彼がわたしに向かって叫

ぶ場合は、わたしは必ずその叫びを聞く。 23 そして、わたしの怒りは燃え上がり、あなたたちを剣で殺す。あなたたちの妻は寡婦となり、子供らは、孤児となる。 24 もし、あなたがわたしの民、あなたと共にいる貧しい者に金を貸す場合は、彼に対して高利貸しのようにしてはならない。彼から利子を取ってはならない。 25 もし、隣人の上着を質にとる場合には、日没までに返さねばならない。 26 なぜなら、それは彼の唯一の衣服、肌を覆う着物だからである。彼は何にくるまって寝ることができるだろうか。もし、彼がわたしに向かって叫ぶならば、わたしは聞く。わたしは憐れみ深いからである

解説：

21～26 節は、弱者を守るための教えです。神様はどれほど弱い者に憐れみ深いかを詰まった聖句です。私たちは常に弱さを抱えて生きている者です。弱い者を守るための律法を作られたのは神様です。

質問/実践：

- ①あなたはどんな憐れみ深い神様を経験していますか。それは周りの兄弟姉妹たちを通してかもしれないですね。書き出して神様の愛に触れて、心満たされる時間を過ごしましょう。
- ②あなたが、もし何か心の貧しさや弱さを感じているならば、憐れみ深い神様に助けを求めましょう。神様はあなたの信仰を見過ごさないです。

<10月31日(土)> 敵を愛する

出エジプト 23:4-5

4 あなたの敵の牛あるいはろばが迷っているのに出会ったならば、必ず彼のもとに連れ戻さなければならぬ。 5 もし、あなたを憎む者のろばが荷物の下に倒れ伏しているのを見た場合、それを見捨てておいてはならない。必ず彼と共に助け起こさねばならない。

解説：

敵を愛するという素晴らしい教えが旧約の時代からはっきりと教えられています。敵の牛やろばは自分を攻撃するために使われるもの、自分を憎んでいる者が倒れていたら助けなければならぬ。とは感情的には「できない。」「やりたくない。」という反応が自然ではないでしょうか。しかし、敵対が目的ではなく、神様の御心は「和解」だからこそ、私たちは敵対するものと和解のチャンスを逃さないことを教えているのだと思います。

質問/実践：

- ①あなたは誰か赦せない人、またはあなたを赦さない人がいますか。きっと深く傷ついたり、傷つけてしまったのだと思います。良くプロセスして、心を準備して、何か和解するチャンスを探しましょう。何かきっかけが与えられるように神様に祈りましょう。
- ②あなたの罪を完全に赦してくれた神様に感謝しましょう。

## <11月1日(日)> 神を見る

出エジプト 24:9-10、17

9 モーセはアロン、ナダブ、アビフおよびイスラエルの七十人の長老と一緒に登って行った。 10 彼らがイスラエルの神を見ると、その御足の下にはサファイアの敷石のような物があり、それはまさに大空のように澄んでいた。 11 神はイスラエルの民の代表者たちに向かって手を伸ばされなかったので、彼らは神を見て、食べ、また飲んだ。 17 主の栄光はイスラエルの人々の目には、山の頂で燃える火のように見えた。

解説：

人が、「神を見て、食べて、また飲んだ。」なんということでしょうか。神様と食事する交わりが行われました。とても信じがたいような出来事ですが、私たちも神様とこのような親しい家族のような交わりができたらどんなに素晴らしいでしょうか。しかし、なんとこの50日後には、イスラエルの民は神様との契約を破り、偶像崇拜してしまうのです。ついには契約を破った場合の呪いがことごとくイスラエルの国に臨むことになりました。しかし、神様は私たちをお見捨てにならず、新しい契約（新約）としてキリストを与えてくださいました。

質問/実践：

- ①神様と食べて飲んで交れたらどんな話をしたいですか？聞いてもらいたいことがありすぎるのではないのでしょうか。ノートに書き出して見てください。
- ②あなたの弟子人生はまだ先があります。あなたに約束してくださった神様を思いながら、あなたはどのようにこの先の人生を歩みたいか考えてみましょう。